

平成30年6月28日

第四管区海上保安本部

# 広報資料

## 【広報案件】

- ・ 竹島水族館において「ふれあいフェア」を開催
- ・ 「御前崎至伊勢湾」の海図が新しくなります
- ・ 夏季の事故防止に向けた安全活動について

## 【お知らせ】

- ・ 巡視船いすず一般公開・訓練公開の実施について
- ・ 平成30年度海上保安学校・大学校学生採用試験のお知らせ
- ・ 平成30年5月の船舶海難事故・人身海難事故発生状況（速報）

**【問い合わせ先】**

総務部総務課

広報・地域連携室長 生田保隆

電話 052 - 661 - 1611 (内線 2111)



平成 30 年 6 月 28 日  
第四管区海上保安本部

## 竹島水族館において『ふれあいフェア』を開催

第四管区海上保安本部では、海上保安制度創設 70 周年及び灯台 150 周年記念事業の一環として、平成 30 年 7 月 7 日(土)及び同 8 日(日)の両日、蒲郡市にある竹島水族館においてブースを設置し、お子さま方に楽しみながら海上保安庁のことを知ってもらえるようイメージキャラクターによる業務紹介や制服着用体験などを行います。

1 日時

平成 30 年 7 月 7 日(土)～同 8 日(日) 午前 9 時～午後 5 時

2 場所

竹島水族館(愛知県蒲郡市竹島町 1 - 6)

3 イベント内容

(1) イメージキャラクター『うみまる』による P R 活動

(クイズ形式による業務紹介、膨張式救命胴衣浮体膨張実演 等)

(2) パネル展示

(3) 制服展示・着用体験、潜水服展示

(4) ぬりえ・ペーパークラフト製作 等々

4 その他

(1) 上記 3 (1) の P R 活動は、竹島水族館内アシカプール会場において、アシカショー開始 40 分前から約 10 分間、一日計 4 回行います。

(開始時刻: 午前 9 時 50 分、午前 11 時 20 分、午後 0 時 50 分、午後 2 時 20 分)

(2) 上記 3 (2)～(4) のイベントは、屋外での実施のため、雨天の場合には、中止とします。



海上保安制度創設 70 周年



【問い合わせ先】

海洋情報部監理課

監理課長 高橋 渡

電話 052-661-1611（内線 2510）



平成30年6月28日  
第四管区海上保安本部

## 「御前埼至伊勢湾」の海図が新しくなります

11年ぶりに「御前埼至伊勢湾」の海図をリニューアルし、6月15日に発行しました。

海上保安庁では、船舶が安全に航海するために必要な水深、海面下の危険な岩礁、灯台、港湾施設等の情報を記載した海図を作製しています。

伊勢湾口の伊良湖水道は、中部圏の物流を担う貨物船などが多く通航する海運の玄関口であり、また、伊勢志摩の玄関口である鳥羽港、的矢港は小型船によるカキ・のり養殖漁業を主とする沿岸漁業と近海漁業の基地となっています。また、熊野灘沿岸は、小さな島、岬、入り江の多いリアス海岸が発達した複雑な地形となっています。さらに大王埼から御前埼の沖合いにかけては、京浜地区へ航行する船舶の航路になっています。そのため、付近を通航する船舶にとって本海図は必要不可欠となっています。

今回リニューアルする「御前埼至伊勢湾」の海図は、平成26年、平成27年に第四管区海上保安本部所属の測量船「いせしお」で測量した伊勢湾口付近の沿岸の水深情報等を取り入れて（別紙参照）、6月15日に発行しました。

発行後は航行安全のため最新の水深情報等が反映された新しい海図を使用しなければなりません。

（参考）

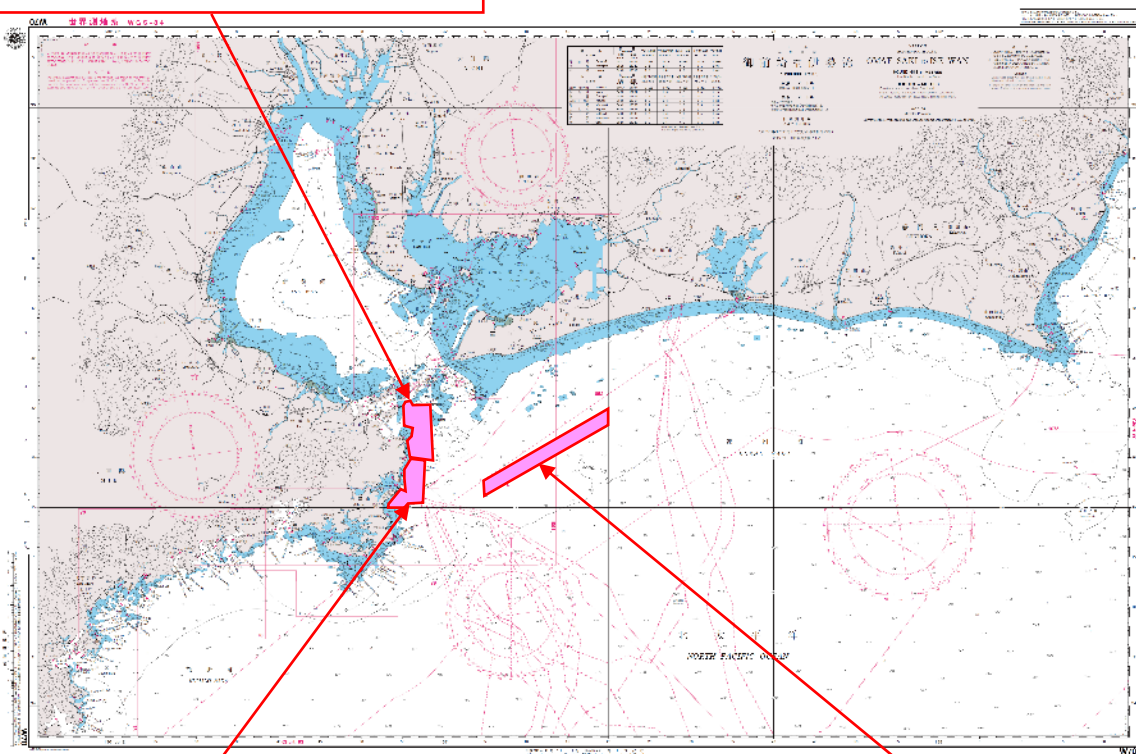
新しい海図のお求めは別添のほか、詳細は（一財）日本水路協会のホームページをご覧ください。

<http://www.jha.or.jp/jp/jha/purchase>



海図 W70「御前崎至伊勢湾」に取り入れられた水路測量成果例（一部）

平成 26 年に測量船「いせしお」  
により測量した水深データの反  
映



平成 26 年、平成 27 年に測量船  
「いせしお」により測量した水深  
データの反映

平成 26 年に測量船「海洋」  
により測量した水深データ  
の反映

## 水路図誌取次店

愛知県		
旭運輸(株)	名古屋市港区入船2の4の6(名港ビル7F)	(052) 661-1815
鹿児島船舶(株) 船用品課	名古屋市港区潮見町37の20	(052) 614-5633
(株)ハリケーン	名古屋市千種区千種2の1の22	(052) 741-7711
(株)ファストネット	蒲郡市海陽町2の1 ラグナマリーナ内	(0533) 59-8299
(有)三河ヨット研究所	刈谷市港町3の12	(0566) 23-9337
総合ポートサービス(株)	豊橋市明海町5の1	(0532) 23-0281
半田港運(株)	半田市11号地1の4	(0569) 23-2307
寺田産業(株)	半田市船入町10の1	(0569) 23-0725
マリーナ東海	西尾市東幡豆町緑ヶ崎1	(0563) 62-4511

三重県		
(株)ダイイチ	津市河芸町東千里854の3	(059) 245-5501
石川商工(株)	伊勢市小木町57の1	(0596) 36-1000
尾鷲石川商工(株)	尾鷲市港町4の1	(0597) 22-1821
住中船具(株)	四日市市尾上町3の8	(059) 352-5265
(株)大久保商会	四日市市尾上町16の3	(059) 353-0141
伊勢湾マリーナ	四日市市天力須賀1の8の26	(059) 364-0100
愛三商船(株) 四日市支店	四日市市千歳町37(埠頭ビル3F)	(059) 353-4556
旭運輸(株) 四日市事務所	四日市市千歳町5の6	(059) 353-5371
石川商工(株) 志摩営業所	志摩市阿児町鵜方1376の3	(0599) 43-3311
(株)志摩ヨットハーバー	度会郡南伊勢町船越3113	(0599) 66-0933

## 〔海図の概要〕

海図番号	図名	縮尺	発行日(予定)	価格 (税込(8%))
W 70 JP 70	御前崎至伊勢湾 OMAE SAKI TO ISE WAN	1/200,000	平成30年6月15日	3,456円

【問い合わせ先】  
交通部安全対策課  
安全対策課長 奥村和彦  
電話 052-661-1611（内線 2640）



平成30年6月28日  
第四管区海上保安本部

## 夏季の事故防止に向けた安全活動について

例年7月から8月にかけては、マリンレジャー活動が活発になり事故が増加する傾向にあることから、第四管区海上保安本部では、夏休みを迎える7月16日から8月31日の間、様々な安全推進活動を展開します。

### <活動名称>

- 海の事故ゼロキャンペーン（全国一斉 官民一体の運動）  
実施期間 平成30年7月16日（月）～7月31日（火）
- 夏季安全推進活動（海上保安庁全体の取組み）  
実施期間 平成30年8月1日（水）～8月31日（金）

### <活動における重点事項>

- 1 小型船舶（プレジャーボート・漁船・遊漁船）の事故防止
- 2 マリンレジャー（遊泳・釣り・サーフィンなど）活動中の事故防止
- 3 ライフジャケットの常時着用等自己救命策の確保
- 4 船舶における見張りの徹底及び船舶間コミュニケーションの促進

### <主な活動内容>

- 1 事故防止に関する指導、教育活動  
訪船指導、海上パトロール、海難防止講習会、小学校等での安全教室等
- 2 広報活動  
テレビ、ラジオ、新聞、広報誌、ホームページ、大規模集客施設等を通じた周知、高速道路サービスエリア・道の駅等での安全啓発
- 3 各種行事等  
※管内の主な行事等は別添を参照してください。



海上保安制度創設70周年



## 主な行事等

## 1 行事

実施日	実施事項	実施内容	問い合わせ先
7月14日	安全啓発活動	尾鷲お魚いちば「おとと」及び、紀勢自動車道紀北パーキングエリア「始神テラス」における安全啓発活動	尾鷲海上保安部 電話 0597-25-0118
7月14日	安全啓発活動	河和小学校生徒等に対する巡視艇きぬかぜによる便宜供与	衣浦海上保安署 電話 0569-22-4999
7月16日	巡視船「いすず」一般公開	豊橋みなとフェスティバルにおいて、巡視船「いすず」の一般公開、専用ブースを設けた海難防止啓発活動。	三河海上保安署 電話 0532-34-0118
7月16日	一日港長等任命式 安全パトロール艇出艇式	豊橋みなとフェスティバルにおいて、一日港長・一日船長等の任命式、安全パトロール艇による出艇式の実施	第四管区海上保安本部 電話 052-661-1611
7月21日	合同安全パトロール	安全パトロール艇（海上安全指導員）及び巡視艇による合同海難防止啓発活動（予定）	名古屋海上保安部 電話 052-661-1615
7月21日	安全啓発活動	中勢バイパス道の駅「津かわげ」での海浜事故防止啓発活動	四日市海上保安部 電話 059-357-0118
7月22日	安全啓発活動	新舞子海岸における海難防止安全啓発活動（新舞子海岸水面利用安全対策連絡協議会の啓発活動に併せた活動）	名古屋海上保安部 電話 052-661-1615
7月22日	合同安全パトロール	安全パトロール艇（海上安全指導員）、巡視艇による合同海難防止啓発活動（英虞湾）	鳥羽海上保安部 電話 0599-25-2303
7月23日	合同安全パトロール	安全パトロール艇（海上安全指導員）、による合同海難防止啓発活動（伊勢・鳥羽地区）	鳥羽海上保安部 電話 059-357-0118
7月29日	安全啓発活動	名古屋港プレジャーボート試乗会において乗船者への安全指導	名古屋海上保安部 電話 052-661-1615
7月29日	安全啓発活動	木曾三川にて中部地方整備局桑名河川事務所との合同パトロール	四日市海上保安部 電話 059-357-0118
8月5日	一日港長等任命式 安全パトロール艇出艇式	四日市みなとまつりにおいて、一日港長・一日船長等の任命式、安全パトロール艇による出艇式の実施	四日市海上保安部 電話 059-357-0118
8月5日	合同安全パトロール	安全パトロール艇（海上安全指導員）、巡視艇による合同海難防止啓発活動（英虞湾）	鳥羽海上保安部 電話 0599-25-2303
8月中旬	合同安全パトロール	安全パトロール艇（海上安全指導員）、巡視艇による合同海難防止啓発活動（五ヶ所湾）	鳥羽海上保安部 電話 0599-25-2303
8月予定	安全啓発活動	美浜海遊祭イベントにおいて海難防止安全啓発活動	名古屋海上保安部 電話 052-661-1615
8月予定	安全啓発活動	知多半島道路のサービスエリア（場所未定）における安全啓発活動	名古屋海上保安部 電話 052-661-1615
8月予定	安全啓発活動	ライフセーバーとの内海海水浴場又は新舞子海水浴場における合同パトロール	名古屋海上保安部 電話 052-661-1615



【安全啓発活動】



【海上パレード】

## 2 講習会

実施日	実施事項	実施内容	問い合わせ先
7月8日	安全講習会	新舞子ポートパーク利用者に対する安全講習会	名古屋海上保安部 電話 052-661-1615
7月9日	安全講習会	遊漁船主任従事者講習会（志摩市商工会館）	鳥羽海上保安部 電話 0599-25-2303
7月18日	安全講習会	海の安全教室におけるライフジャケット着用等に関する安全講習 （東紀州くろしお学園おわせ分校）	尾鷲海上保安部 電話 0597-25-0118
7月19日	安全講習会	遊漁船業務主任者講習受講者に対する安全講習	尾鷲海上保安部 電話 0597-25-0118
7月26日	安全講習会	パールレース艇長会議（志摩ヨットハーバー）	鳥羽海上保安部 電話 0599-25-2303
7月中	海上安全講習会	NTPマリーナ高浜（安全推進マリーナ）職員及び利用者への安全講習会	衣浦海上保安署 電話 0569-22-4999
8月2日	安全講習会	遊漁船主任従事者講習会（三重外湾奈屋浦）	鳥羽海上保安部 電話 0599-25-2303
8月9日	安全講習会	遊漁船業務主任者に対する安全講習会	名古屋海上保安部 電話 052-661-1615
8月9日	安全講習会	伊勢市大湊地区の小学生を対象としたライフジャケット着用方法等の海上安全教室	鳥羽海上保安部 電話 0599-25-2303
7月下旬～ 8月上旬等	安全講習会	熊野灘遊漁船等安全協会各地区集会にあわせての安全講習	尾鷲海上保安部 電話 0597-25-0118



【ライフジャケット着用講習会】



【小型船舶免許更新時の安全講習会】

### 3 その他期間中の取組み

実施日	実施事項	実施内容	問合せ先
7月1日～ 7月31日	広報普及活動	離島を管轄する市町広報誌掲載による広報	衣浦海上保安署 電話 0569-22-4999
7月3日	安全総点検	中部運輸局との合同安全総点検 西尾市営佐久島渡船（一色港）	衣浦海上保安署 電話 0569-22-4999
7月6日	安全総点検	中部運輸局との合同安全総点検 海上観光船師崎ターミナル	衣浦海上保安署 電話 0569-22-4999
7月10日	専門誌への投稿	地域密着型マリン情報誌「ハイビッチ」への運動内容の掲載	第四管区海上保安本部 電話 052-661-1611
7月14日	広報普及活動	河和港名鉄海上観光船利用客に対する啓発活動 横断幕の掲示 リーフレット等の配布	衣浦海上保安署 電話 0569-22-4999
7月16日～ 7月31日	広報普及活動	名古屋港水族館大型スクリーンによる広報	名古屋海上保安部 電話 052-661-1615
7月16日～ 7月31日	広報普及活動	ナゴヤドームにおける電光掲示板による広報	名古屋海上保安部 電話 052-661-1615
7月16日～ 7月31日	広報普及活動	巡視船への横断幕の掲示、ライトメールによる広報	名古屋海上保安部 電話 052-661-1615
7月16日～ 7月31日	広報普及活動	船艇基地フェンスに横断幕の掲示	四日市海上保安部 電話 059-357-0118
7月16日～ 7月31日	広報普及活動	津競艇場大型スクリーンによる広報	四日市海上保安部 電話 059-357-0118
7月16日～ 7月31日	広報普及活動	巡視船への横断幕の掲示、ライトメールによる広報	四日市海上保安部 電話 059-357-0118
7月16日～ 7月31日	広報普及活動	巡視船への横断幕の掲示、ライトメールによる広報	尾鷲海上保安部 電話 0597-25-0118
7月16日～ 7月31日	広報普及活動	巡視船への横断幕の掲示、ライトメールによる広報	鳥羽海上保安部 電話 0599-25-2303
7月16日～ 7月31日	広報普及活動	管内の漁協・マリーナ等へのポスター・リーフレット配布	衣浦海上保安署 電話 0569-22-4999
7月16日～ 7月31日	広報普及活動	巡視艇への横断幕の掲示による広報	衣浦海上保安署 電話 0569-22-4999
7月16日～ 7月31日	広報普及活動	巡視艇棧橋への横断幕の掲示による広報	中部空港海上保安航空基地 電話 0569-38-8118
7月中	広報普及活動	西尾市営佐久島渡船利用客に対する啓発活動 横断幕の掲示 リーフレット等の配布	衣浦海上保安署 電話 0569-22-4999
7月中	広報普及活動	師崎港名鉄海上観光船利用客に対する啓発活動 横断幕の掲示 リーフレット等の配布	衣浦海上保安署 電話 0569-22-4999

※ 取材申し込み及び詳細につきましては、各担当保安部署へお問い合わせください。



【巡視船のライトメール】



【名古屋港水族館での周知映像放送】

**【問い合わせ先】**

総務部総務課

広報・地域連携室長 生田保隆

電話 052-661-1611（内線 2111）



平成 30 年 6 月 28 日  
第四管区海上保安本部

**巡視船の一般公開を実施します！  
～巡視船いすず一般公開～**

第四管区海上保安本部では、海上保安制度創設 70 周年及び灯台 150 周年記念事業の一環として、下記の日程において、鳥羽海上保安部所属の巡視船いすずによる一般公開を実施します。

また、一部時間帯において訓練公開も実施します。

**1 日時**

巡視船いすず一般公開

平成 30 年 6 月 30 日（土）13：30～16：00（訓練公開 10：00～11：00）

\* 訓練公開内容は巡視船いすず潜水士による潜水訓練を予定しています。

\* 訓練中にあっては、巡視船いすずの一般公開は行いません。

（別紙 1 参照）

**2 場所**

名古屋港ガーデンふ頭 3 号岸壁（別紙 2 参照）

**3 イベント内容**

- ・一般公開では、巡視船の船内見学（一部区画を除く）のほか、学生募集活動の一環として募集コーナーを設置し、海上保安学校及び海上保安大学校の広報用 PR 動画の放映を行います。
- ・当日は、海上保安庁のマスコットキャラクター「うみまる・うーみん」も登場します。

#### 4 取材の申し込み

- ・取材を希望される場合は、

- 巡視船いすずに関する取材

別紙3に必要事項を記載のうえ、6月28日15:00までにご連絡ください。

- ・集合日時・場所

- 巡視船いすずに関する取材

平成30年6月30日（土）09:45までに実施場所

\* 取材等につきましては、訓練時間に併せての調整とさせていただきます。

## ○巡視船いすず



(総トン数335トン、全長56メートル、鳥羽海上保安部所属)



○一般公開実施場所



実施場所：ガーデンふ頭3号岸壁（「名古屋港ポートビル」付近岸壁）

⇒地下鉄名港線

「名古屋港駅3番出口（水族館方面）」から徒歩約10分  
当日は駅前付近に当庁職員を配置しています。

\* 付近に無料の駐車場はございませんのでご注意ください。

「巡視船いすず一般公開（6/30）」取材申込書

【取材参加】

ご社名

---

ご芳名

---

---

\*お手数ですが、取材に来られる方全員のお名前を記入してください。

連絡先

---

FAX送付先：052-661-1620

メールアドレス：[jcg4soumu1-5u5s@mlit.go.jp](mailto:jcg4soumu1-5u5s@mlit.go.jp)

締切日：平成30年6月28日（木）15:00まで

**【問い合わせ先】**

総務部人事課

人事課長 辻 博仁

電話 052-661-1611(内線 2130)



平成30年6月28日  
第四管区海上保安本部

**平成30年度 海上保安学校・大学校学生採用試験のお知らせ**

海上保安庁では、平成31年4月入校の海上保安学校・海上保安大学校学生の採用試験を別紙のとおり実施します。

近年、海上保安業務の重要性がより一層高まるなか、第四管区海上保安本部では、優秀な地元出身者を確保するため、募集活動を強力に展開します。

**入学すると・・・**

●両校とも、全寮制で入学金、授業料は一切不要。学生生活に必要な制服や寝具等は貸与されます（食費、身の回り品等は自己負担）。

●入学と同時に国家公務員としての身分を与えられ、毎月約14万円の給与や期末手当等が支給されます。

●国土交通省共済組合員としての社会保障を受けることができます。



**海上保安学校（京都府舞鶴市）**

海上保安官として、必要な学術及び技能を教授し併せて心身の錬成を図ることを目的として設置された海上保安庁の教育機関です。

5課程3コースが設けられ、実践的な授業で各分野のエキスパートを育てています。教育期間は課程により1年と2年に分かれています。



**海上保安大学校（広島県呉市）**

将来の幹部海上保安官として、必要なリーダーシップ及び学術・技能を教授し併せて心身の錬成を図ることを目的として設置された海上保安庁の教育機関です。

教育期間は、本科4年、専攻科（遠洋航海実習等）6ヶ月の合計4年6ヶ月で、卒業時には学士号（海上保安）が授与されます。

## 平成30年度 採用試験予定表

	海上保安学校	海上保安大学校
受付期間	H30.7.17(火)～H30.7.26(木) (インターネット申込) H30.7.17(火)～H30.7.19(木) (郵送又は持参申込)	H30.8.23(木)～H30.9.3(月) (インターネット申込) H30.8.23(木)～H30.8.27(月) (郵送又は持参申込)
第1次試験	H30.9.23(日)	H30.10.27(土)、H30.10.28(日)
1次合格発表	H30.10.10(水)	H30.12.7(金)
第2次試験	H30.10.16(火)～H30.10.25(木)	H30.12.14(金)
最終合格発表	H30.11.20(火) (航空課程のみ2次合格者発表)	H31.1.17(木)
第3次試験 (航空のみ)	H30.12.1(土)～H30.12.11(火)	-
最終合格発表 (航空のみ)	H31.1.17(木)	-
採用予定日	H31.4	H31.4
採用 予定者数	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 船舶運航システム課程 約180名</li> <li>• 航空課程 約25名</li> <li>• 情報システム課程 約60名</li> <li>• 管制課程 約20名</li> <li>• 海洋科学課程 約15名</li> </ul> (H29: 船舶運航システム課程約185名 航空課程約10名 情報システム課程約60名 管制課程約20名 海洋科学課程約15名)	約60名  (H29: 約60名)
修業期間	1年(情報システム課程・管制課程は2年)	本科4年・専攻科6ヶ月

※ 採用予定者数の括弧内は平成29年度の数です。

※ この募集に関する詳細は、海上保安庁のホームページ  
(<http://www.kaiho.mlit.go.jp/>) をご覧いただくか、第四管区海上保安本部総務部人事課(電話 052-661-1611)までお問い合わせ下さい。

**【問い合わせ先】**

交通部安全対策課

安全対策課長 奥村 和彦

電話 052-661-1611（内線 2640）



平成30年6月28日  
第四管区海上保安本部

## 平成30年5月の船舶海難・人身海難発生状況（速報）

### 1 船舶海難

- (1) 5月の船舶海難は10隻で、そのうち船舶事故は7隻、インシデントは3隻でした。  
なお、船舶事故による死者・行方不明者の発生はありませんでした（前年同月0人）。
- (2) 船舶事故の船種別は、プレジャーボート7隻となっています。  
事故種類別では、乗揚が1隻、運航不能が6隻となっています。  
なお、運航不能の内訳は、機関故障が3隻、推進器障害が2隻、バッテリー過放電が1隻となっています。
- (3) 船舶事故7隻は全て小型船舶でした。  
プレジャーボートの事故では、ミニボートに幼児を含めた家族4人が乗船し釣り中、風が強くなり帰港しようとしたところ機関が起動せず漂流し、当庁の巡視艇により曳航救助される事故などが発生しています。
- (4) 今年5月までの船舶事故の累計は46隻となっています。

### 2 人身海難

- (1) 5月の人身海難は12人で、そのうち人身事故は9人、その他の人身にかかるトラブルは3人でした。  
なお、人身事故による死者・行方不明者は1人でした（前年同月11人）。
- (2) 人身事故の内訳は、マリンレジャーに伴う海浜事故が2人、マリンレジャー以外の海浜事故が2人、乗船者の人身事故が5人となっています。
- (3) マリンレジャーに伴う海浜事故では、防波堤で3名のグループが夜釣りをしていたところ、1名が波消ブロックの間に転落し死亡したほか、転落者を救助中に1名が足を滑らせ腰部を打撲し負傷する事故などが発生しています。
- (4) 今年5月までの人身事故の累計は38人となっています。



海上保安制度創設70周年

